

第 897 回 例 会

4年3月11日

本日のプログラム

- ・ソング 「朧月夜」
- ・卓話 笹倉 光雄 会員
「夢の構想 ～思い続ければ必ず道が見えてくる～」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 4階「平安の間」

次回(3月18日)のプログラム

- ・ソング 「それこそロータリー」
- ・卓話 楠 昇 会員
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 4階「平安の間」
- ・ガバナー補佐訪問 クラブ協議会 13:40～ 4階「末広の間」

先週(3月4日)の例会報告

■会長の時間

皆さん、こんにちは。今日のニュースで、ロシアがウクライナの原子力発電所を攻撃をして、火災が発生していると流れていました。昔、ソ連時代にチェルノブイリの原発が爆発しましたが、これもウクライナにあったので、また同じ悲劇を起こすのかと憤りを感じます。日本にも原発があるので、中国や北朝鮮から子劇を受けると、本当にやばいです。日本は、早く憲法を改正して、中国や北朝鮮から攻撃を受けても対抗できるようにする必要があると実感しました。

今日は、不動産の時効取得の話します。

3年ぐらい前に、北区の私の事務所の近くに住む従兄弟から、隣地が売却のために、筆界確認を立ち合いでして欲しい。と依頼があったから、一緒に立ち会って欲しい。と頼まれました。現場に行くと、隣地の地主と土地家屋調査士が来ており、境界には、従兄弟の父が作ったブロックの壁がありました。土地家屋調査士は、「この壁は、本来の境界から20～30cmほど越境されてますよ。次回立替をされるときに、境界から後退して建物等を建築するという誓約書に署名押印してください。」と発言しました。隣地の地主に依頼された土地家屋調査士なので、隣地の地主に有利な発言をするのは、当たり前ですが、私は、「このブロック塀は、作ってから30年以上になるので、すでに時効取得してますよ。」とつい余計なことを言って、従兄弟に有利な方向に持って行きました。

民法第162条第1項に、20年間、所有の意思をもって、平穩かつ、公然と他人の物を占有した者は、その所有権を取得する。第2項で、10年間、所有の意思をもって、平穩かつ、公然と他人の物を占有した者は、その占有開始の時に、善意であり、かつ、過失がなかったときは、その所有権を取得する。と規定されています。

これで、最終的に、越境部分を分筆して、分筆部分の所有家を隣地の地主から従兄弟に移転しました。

自分の権利は、自分で守っていく必要があるという話でした。

【来客紹介】 1名

【出席報告】

4年3月4日(第896回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
37名	1名	24名	12名	66.67%

【幹事報告】

〔メールBOXに配布〕

- 1)ロータリーの友(3月号)
- 2)(役員・委員長へ) 3/18 ガバナー補佐訪問・クラブ協議会のご案内

〔メール送信〕

- 1)ガバナー月信(3月号) ⇒ 3/1 配信
- 2)大阪RAC「チャリティクラフトビール」販売のご案内 ⇒ 3/1 配信
- 3)IM第5組ロータリーデーのご案内 ⇒ 3/3 配信
- 4)ロータリーの友3月号 推奨記事と関連記事のご紹介 ⇒ 3/4 配信

ニコニコ箱(3月4日)

樋上 久代 =少し暖かくなってきましたネ!! 油断しないで体調管理をよろしく願います。

吉田さん、卓話 楽しみにしています。

川上 大雄 =心配をおかけしております。元気です。

小林 知義 =今日は久しぶりに吉田会員に会えます。吉田さん、卓話 楽しみにしています。

久保田秀一 =今日、3回目のワクチン接種 受けました。吉田さんの卓話、楽しみにしています。

大屋 準一 =2月末から不安な毎日です。原因はロシアのウクライナ侵略ですが、今日は原発も攻撃しています。

吉田さんの卓話で心を落ち着かせましょう。

斎藤 清貴 =吉田さん、お久しぶりです。卓話、宜しくお願いします。

笹倉 光雄 =いつも欠席が続き 申し訳ありません。 本社移転も含めてしばらくはご迷惑をお掛けします。 宜しく願い致します。

高野 幸雄 =吉田さん、お久しぶりです。 卓話、楽しみにしています。

辻田 知史 =ロシアのウクライナ侵攻が始まって9日が経ちますが、昨日、今日のニュースでウクライナの原発が攻撃を受けて大火災が発生しているとのこと、放射能が漏れて大規模な放射能汚染が起きることを考えると刻攻撃でなくともそれに近い深刻な状況になるでしょう。 日本にも原発が54基あります。 稼働している原発は9基ですが、日本のように小さい島国で原発に攻撃でも受ければ、たちまち人が住めるような土地はなくなるでしょうね。 早くウクライナの戦争が終わることを祈っています。 世界に平和を！ 吉田さん、卓話 楽しみにしています。

和氣 勝海 =少し春めいてきましたね。 吉田さん、お久しぶりです。 卓話 楽しみにしています。

吉田 正信 =ごぶさたです。 本日 よろしくお願ひします。

【SAA報告】	ニコニコ箱	本日計 20000円	今年度合計 5226159円
---------	-------	------------	----------------

卓話(3月4日)

「昨年から今年にかけて」 吉田 正信 会員

「昨年から今年にかけて」の — やっと、東京オリパラ編 —

昨年の7月に2020東京オリンピック パラリンピック(以下、東京オリパラ)が コロナと並走しながら1年遅れでやっと始まった。 私なりのやっとは2つある。

一つはIOCや選手などの目線からでなく、東京オリパラ大会をサポートするボランティアサイドからのやっただ。 特に初のスポーツボランティアリーダーの育成は、まだ東京オリパラ招致委員会が組織される前、2007年の東京国際マラソン大会の開催に向けて緊張感を持って入念に準備されてきた。 勿論それは将来のオリンピックという国際的大スポーツイベントを見据えてのものだった。 その実績を持っていよいよの時、有為転変のコロナで1年の会期順延となった。 さらにマラソンはIOCの独断で札幌に移行し関係者を慌てさせた。 わが国の本格的なスポーツボランティアの育成は日本財団、笹川スポーツ財団が担ってきた。 最初のやっとは、本番で活躍した多くの無名のボランティアの皆さんは勿論、彼らを導いた当該財団関係者のものであると思っている。(尚、所属のフレンドリー情報センターは、笹川スポーツ財団と1990年代既にボランティアによるニュースポーツの祭典、sports for all国際フェアを東京、大阪、神戸で実現してる)

二つ目のやっとはパラリンピックの競技種目のポッチャだ。 私が25才の時に創業した株式会社サンラッキーはニュースポーツ用品の専門メーカーだが、このポッチャを採り入れるまでオリンピックやパラリンピックの用品は扱ってなかった。 ニュースポーツは年齢や性別、体力、場所を問わず、いつでもどこでも楽しめるsport for everyone をコンセプトとした、わが国では新しいスポーツを云う。

このニュースポーツというワードは1982年からサンラッキー社が提唱したもので、1985年に文科省はやっとニュースポーツというジャンルを含めての生涯スポーツ課を新たに設置した。 それまで省内には学校体育課やスポーツと云えば強さや速さ、記録を争う競技スポーツ課しかなかった。 そこにゲートボールの高齢者層への爆発的普及が後押しし、長寿国家となりつつあったわが国の喫緊の課題が露わとなり文科省や厚労省を突き動かすに至った。 そんな当時、始まったパラリンピックのポッチャは北欧で盛んな障害者スポーツとして又車椅子専用競技として、わが国に紹介された故に健常者が目に触れる機会は10数年前まで稀だった。 サンラッキー社はそうでなく、誰もがいつまでもどこでも楽しめるニュースポーツとして、障害者の枠に捉われず子どもや高齢者に推奨し全国に紹介販売することにした。 結果、この東京オリパラでやっと一般人にも少し認知され、また学校などで親しまれるスポーツの一つになったようだ。

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日
事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459
会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか